

レプトン校との交流 3 日目。最終日の午前中は、レスター市の National Space Centre に舞台を移し、宇宙物理学の専門家から講義を受けました。高度な物理的思考と計算能力そして英語力がたっぷり詰まった講義を受けた後、野外でさまざまな実験を通じた力学理論の検証を行い、さらに彗星の核をドライアイスなどで再現するなど、充実した宇宙授業となりました。宇宙に強い興味をもつ本校生徒が英語でディスカッションする姿に、レプトン校の生徒も驚いていました。

午後からはレプトン校に戻り、いよいよ双方の生徒の研究発表です。豊田西高校からは①粘菌の研究（イグノーベル賞を 2 回受賞した豊田西高の大先輩 中垣 俊之 北海道大学教授より指導を受けています！）②地元の矢作川に侵入した外来生物に関する研究 ③有機養液栽培に関する研究 の 3 件を口頭およびポスターで発表しました。レプトン校からは血液や神経系、腎臓に関する高度な医薬学的な研究が紹介されました。発表後、双方の生徒が熱く質疑応答を行っている様子は、まさに国際学会の高校生版。一日一日の高校生の成長はすばらしいです。

Farewell セレモニー。最後まで別れを惜しむ両校の生徒は互いにハグしたり、泣き出しそうになったりしていました。国を超え、世界の次代を担うリーダーたちの芽生えです。



宇宙物理に関する講義



屋外での力学検証実験



彗星の核の再現実験



粘菌に関する研究発表



傾聴、そして熱い質疑応答



外来生物に関する研究発表



ポスターセッション（有機養液）



別れを惜しむ生徒たち



最後に記念撮影で締めくくり